

特別な休暇制度活用事例

● 勤続旅行制度

ポイント1

社員の負担を
軽減することで、
制度利用率が飛躍的に向上

ポイント2

豊富なプランから
選択できるなど、社員が
利用したくなる工夫も



使い勝手を考慮して制度を改定
制度利用率をほぼ100%に

株式会社中央住宅を中核に、埼玉県を中心に東京都、千葉県で住宅総合販売を手がけるポラスグループ。「住まい価値創造企業」として、住宅やマンション建設だけでなく、地域の景観にも配慮した街づくりに取り組み、自治体のまちなみ景観賞などさまざまな賞を受賞しています。グループ社員の福利厚生の一環として、2014年に改定した特別な休暇制度が「勤続旅行制度」です。人事部人事課の谷津田恵利香さんに、導入の経緯やその効果などをお話いただきました。

法人概要

[設立] 1969年
[事業内容] 不動産業、建設業、木材加工販売業 他
[従業員数] 4,014名 (2016年8月現在)

[年次有給休暇の取得率] 51.7% (2015年度実績)
[年間休日数] 120日
[URL] <http://www.polus.co.jp/>

旅行券支給の制度から旅行プランを選べる制度へ

当社の「勤続旅行制度」は、2014年に改定した有給の特別な休暇制度です。勤続5年ごとの節目を迎えた社員が対象となり、取得できる休暇日数は5日間です。社員には、複数の国内・海外の旅行プランが提示され、その中から行き先を自由に選択できます。以前には、10年勤続で5万円分、20年勤続で10万円分の旅行券を支給し、5日間の休暇で使ってもらうという制度を実施していました。しかし、旅行の手配は自ら行う必要があるなど負担が大きいことから制度の利用率は高くなく、また、制度の趣旨が浸透していないこともあり、旅行を通じてリフレッシュしてもらうという目的は十分に達成できていませんでした。

そこで、旅行券の支給から旅行プランの支給へ、また、会社から旅行代理店に一括で旅行の申込み手続きを行うよう、制度を変更しました。やむを得ない事情で直前にキャンセルになることもありますが、その場合でも会社側でキャンセル費用を負担しています。これにより、休暇の取得を従来よりも積極的に促せるようになり、人気のある旅行先をプランに取り入れるなどの工夫も行った結果、対象者の旅行の申込率は100%になっています。

利用者の口コミが他の社員の利用を後押し

「勤続旅行制度」では、国内・海外ともに、あらかじめ日程が設定された団体旅行プランと、日程を指定期間内で選べる個人旅行プランを用意しています。団体旅行プランは、選択した社員と一緒に旅行に行くため、親睦にもつながります。また、現地では自由行動となるため、気兼ねなく家族サービスもできま

す。10年以上勤続者向けのプランでは、国内旅行で4名分の旅費を会社で負担するプランもあり、家族旅行や友人・知人の旅行も可能になっています。差額を自己負担して随行人数を増やせるため、子どもの分の旅費を追加して、家族で海外へ旅行するなど、個々人の状況に合った自由度の高いプランでリフレッシュすることができます。旅行から戻って出社した社員が、旅行の楽しさを話したり、家族にも好評だったと話すのを聞くと、これから「勤続旅行制度」の対象となる社員も、制度を使って旅行に行きたくなるようです。

旅行先はトレンドや社内の前年度の人気を踏まえて、毎年更新しています。社員からは、以前の制度よりもよくなったと好評です。

「旅行に行ける権利を付与する制度」から
「休暇を取って旅行する制度」への変更が奏功

「勤続旅行制度」では、休暇制度の対象者が事前にわかりやすく、制度利用の申請は上司を通じて行いますから、いつから休暇制度を使って旅行に行くという情報も職場で把握しやすくなりました。上司にとっては、その期間に「部下がきちんと休みを取れるようなマネジメントをする」という、働き方の意識の変革にも結びついているように思います。

以前の制度は「旅行に行ける権利を付与する制度」であり、権利を行使するために多くのことを自分で行わなければならませんでした。そのため、周囲に気を遣ってしまい、最初の一步が踏み出せない社員も多かったため、選択肢から選ぶ「休暇を取って旅行に行く制度」に改定し、加えてより魅力的な制度へと積極的に改善を重ねたことで、大幅な利用率向上に結びついたものと考えています。



普段は勤務地の違う同期と、家族一緒にハワイ旅行

ガーデンヒルズ事業部 北村善寛さん、戸建分譲設計本部 椎名愛子さん

2015年の11月に、「勤続旅行制度」を利用して一家3人でハワイ旅行に行きました。ハワイは過去にサーフィンを目的に2回行ったことがあります。今回は家族旅行でしたが、「勤続旅行制度」が用意した旅行プランの中に、子どもも楽しめるプール付きのホテル宿泊プランがあったので、このプランを利用しました。私たち夫婦は同期入社で2人とも制度の対象だったため、大人2人分は会社負担、子どもの分は自己負担です。レンタカーでノースショ

アを巡ったり、ショッピングセンターで買い物したり、グルメを味わったりと、ハワイを満喫できました。子どもにとっては初めての海外で、刺激を受けたのか、帰国後に英会話に興味を持つようになりました。普段は離れた職場にいる、同期入社の友人の一家も同じツアーで一緒だったこともあって、両家族でハワイ旅行を楽しめたのもよい思い出になりました。また5年後の「勤続旅行制度」の利用に向けて、気持ち新たにがんばりたいと思っています。



左から/谷津田さん、北村さん、椎名さん
※北村さんと椎名さん(社内で旧姓を使用)はご夫婦です